

故 稲川一会員を偲んで



稲川 一 会員

2012－2013豊島東RC会長
2018－2019北分区ガバナー補佐
2021－2022地区大会実行委員会委員長
2026年4月8日逝去

稲川さんの訃報は信じられませんでした。家族ぐるみの付き合いで、よく家を行き来しており又スポーツマンで健康的な姿が目につかびます。とにかくゴルフがお上手で、気持ちよくドライバーで飛距離を出していました。一緒にゴルフ場を回っているだけで、気持のよい方でした。妻同士が気が合い、自転車でお互い訪ね合っておしゃべりに花を咲かせていました。寂しくなりますが、稲川さんがいなくとも今までにどうりに自転車で早苗さん、訪ねてきてください。ご冥福をお祈りいたします。

記 浅原 英明

大先輩の浅原会員のあとを、引き継がせていただきます。私の入会が平成26年1月ですから稲川さんは23年6ヶ月先輩となります。

若輩の私が追悼文を書くのはおこがましいですが、これまで何人もの先輩がクラブを退会されてしまい私に回ってきました。

実は稲川さんとは同じ奉仕活動を行ったという経験がありませんでしたが、東京豊島東ロータリークラブの最終年度(合併直前年度)に若林ガバナーのもと地区大会のホスト役が回ってきました。折しも私がその当時の会長を仰せつかっておりましたので幹事の故 櫛田隆治会員から、叱咤激励を受けながらクラブ会長職と地区大会ホスト会長を務めました。

稲川さんには、お忙しい中ではありましたが地区大会の実行委員長を引き受けていただき、沢山の会議に出席され実行委員長として、立派に地区大会を遂行されました。稲川さんとあまり接点がなかった私に、幹事からの助言があり例会後はできるだけ稲川さんと会話をするようにとご指導がありました。

地区大会の準備をはじめ、近隣クラブ特に池袋ロータリークラブの会員の方には大変お世話になりました。

それ以外でも稲川さんはお仕事がお忙しく、なかなかクラブ主催の催し物に参加ができませんでした。その時は必ずといってよいほど奥様の早苗さんが代わりに参加され、親睦旅行・親睦ゴルフ・夜間例会を盛り上げていただきました。ご夫妻そろってのクラブを盛り立て者でした。またホームミーティングに参加いただき、ランチステーキで盛り上がった事もありましたし昨年は初めて江戸一のウナギをご一緒しました。今年3月の終わりの例会でお声を聞いたのが最後となってしまいましたので、またフラーと例会場に来るような気がします。安らかにやすみください。

記 佐藤美枝子



豊島東RC時代の地区大会

公共イメージ向上委員会 : 委員長 山本会員、副委員長 高木会員、委員 長尾会員、里見会員、加古会員



東京池袋豊島東ロータリークラブ 第 34 回例会 2026/6/4

3116回

Weekly Report



会長：榊原一久 幹事：佐藤美枝子 RI会長：フランチェスコ・アレツツォ 第2580地区ガバナー：中川雅雄

四字熟語でロータリー

日常茶飯

(にちじょうさはん)

毎日の食事のことで、ありふれた普通のことや、何でもない平凡なことのたとえです。平凡なことを無事に仕上げることほど、難しい事はありません。ロータリーの例会も、日常茶飯のようですが、滞りなく無事に終えることは素晴らしいことなのです。(小泉博明)

本日の例会

6月4日(木)12:30～13:30

卓 話:「会員増強フォーラム」

会員増強今年度委員長 石川宜司会員

次年度委員長 長尾益男会員

次回の例会

6月11日(木)12:30～13:45

クラブフォーラム

新旧各委員長より報告

5月28日 例会報告

司 会	宮部会員
開会点鐘	榊原会長
ロータリーソング	
ソングリーダー	石川会員
会員総数	28名
出席規定適用者数	22名
本日の出席者総数	19名
// 免除者出席数	5名
本日の出席率	70.37%
ビジター	高田由美様 東京板橋セントラルRC 高田唯杏様(高田様ご子息)



6月

受 付：里見雅行会員 浅原英明会員 石塚丈晴会員
司 会：加古博昭会員 ニコニコ：細田新子会員
写 真：山本伸也会員 ソングリーダー：長尾益男会員

会長報告

1. ローターアクト4月活動報告書を今回週報と併せて、配布しております。
・4月度献血例会
4月12日(日)午前・午後の二部制で実施
・第37回ローターアクト年次大会
4月25、26日(2日間) 参加報告

幹事報告

1. 本日5月28日(木)青少年交換留学生 棚川君が帰国します。
2. 26年度 青少年交換来日学生帰国前報告会が開催されます。
・6月20日(土)15:00 ～ 日本青年館ホテル

6月お祝い

会員誕生日	中川 武 会員
	宮部 一弘 会員
皆 出 席 年	44年 鈴木孝雄 会員
	32年 森川義基 会員
	3年 石塚丈晴 会員

6月例会SAA担当

司会	加古 博昭 会員
ニコニコ	細田 新子 会員
写真	山本 伸也 会員
ソングリーダー	長尾 益男 会員



ニコニコ

鈴木会員 国際奉仕委員長として台湾東海RCの周年行事に参加出来ず、榊原会長にニコニコのお願いをしたところ、お金の一部が戻って来ましたのでニコニコします。

宮代会員 板橋セントラルRCより、ようこそ高田さん、ご子息唯杏君

本日の合計額: 12,000円
今年度ニコニコ累計額: 474,250円

棚川 恵温君 帰国

棚川恵温(たながわ えおん)君が2026年5月28日に派遣先のベルギーより帰国しました。2025年8月2日に出発しましたので、約10ヶ月の留学生活を終え元気に帰ってきました。御両親そして彼のカウンセラーの石塚会員、大叔父の浦野静夫さん(東京池袋西RC)彼が派遣予定学生時の地区青少年交換委員長の武藤寿信さん(東京福生RC)、派遣予定学生時のジュニアカウンセラーの鈴木結未歩さん(東京臨海西RAC)などのロータリー関係者で到着した成田空港で出迎えました。6月18日の夜間例会で帰国報告をしていただきます。楽しみにしています。(加古博昭)

那覇東ロータリークラブ
創立60周年記念例会

1966年1月8日創立の那覇東ロータリークラブが創立60周年を迎え、5月22日に例会場である那覇国際通りのほぼ中央に位置するホテルコレクティブで記念例会、祝賀会が行われました。中川雅雄ガバナー、中島弘人ガバナーノミニージェジグネートはじめ地区役員や在沖縄の他クラブそして那覇東ロータリークラブの友好クラブのメンバーなどが集い、約200名の盛大な会となりました。会員による空手の演武あり、歌あり踊りありで沖縄のクラブらしさ満載の式典となりました。そして60周年記念事業では、那覇空港に設置した「パラゆいAirportGallery」が紹介されました。これは社会福祉法人若竹福祉会(浦添市)の利用者で障がいのある人が製作した14作品の展示スペースです。フェルトペンや紙の切り貼りなど思い思いの方法での表現でアートを通じ人々の心と心をつながたいとの思いを込めた事業ということでした。この日の東京は、季節はずれの寒い日だったみたいですが、那覇は梅雨の生憎の天気でした。しかし那覇東ロータリークラブの会員の熱い思いあふれる式典で、まさに雨降って地固まるという表現がぴったりの夜となりました。このたび諸事情で出席が叶わなかった鈴木孝雄パストガバナーの祝電も披露されました。(加古博昭)



卓 話

「娘1歳、父はステージ4
小腸がんと生きた10年」
産経新聞 論説副委員長
坂井 広志様



がん発覚の経緯

【平成28年～水戸支局デスク時代～】

10月ごろ 激しい息切れ。階段を少し上っただけでハアハア。支局長からは「なんでハアハア言ってるの?」。異変を自覚。

11月下旬 「肺炎かなあ」と思い、水戸市内の病院へ
女医から言われたのは・・・

「坂井さん、ド貧血ですよ。
すぐ大病院に行ってください!」

手術
(セカンドパステデー)

【平成28年】
12月19日午前 手術
その後、妻は執刀医から説明を受ける。
病理検査前ではあったものの、開腹手術をした結果、執刀医は「がん」であることを確信。娘は当時1歳。
執刀医「予想外でした・・・」
妻「主人は気が弱いんで・・・」

告 知

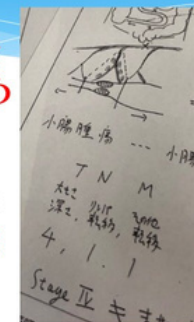
【平成28年】
12月28日 告知そして退院

執刀医「これから厳しいことを
言いますが、しっかり受け止めて
ください」

この言葉聞いた途端、頭の中は真っ白に
まさかの腹膜播種＝遠隔転移なのでステージ4

執刀医「坂井さんには将来が
ある。やりようはあります」

執刀医が面談室を出ていった途端に泣き崩れる



東京で抗がん剤治療開始

【平成29年】
編集局長にかけ合ってもとめた東京本社政治部に
水戸生活は1年9カ月で幕・・・
1月13日 抗がん剤治療スタート
@国立がん研究センター中央病院

担当医「がんのすべてを消すのは難しいが、
治る可能性は0%ではない。継続的に治療
を行い、がんを制御して今の元気を保ち
ましょう」

※ステージ4の小腸がんの5年生存率は10%(がんセンター
のデータでは)

数々の人の励ましに感謝

長州力さん
「俺と会ったってしょうがないぞ。娘が一番
の抗がん剤じゃないか。自分の病気のこ
をを考えるんじゃなくて娘のことを考えろ」



胸に突き刺さった娘のこんな一言

娘(当時3歳)「なんで薬のんでるの?」
パパ「がんだからだよ」
娘「なんでがんなの?」
パパ「分からないなあ」
娘「がんたどうなるの?」
パパ「死んじゃうかもしれないだよ」
娘「〇×△※・・・」
パパ「え?なんて言ったの?」
娘「薬のんでるから大丈夫!」

(大声で)

現在罹患10年目、経過観察中

娘は現在、11歳。小6。

10年生きていることに驚き。

娘がくれた「生き抜く力」

子供は小さいため、とにかく生きな
ければいけないと強く思い続けた日々。

知り合いからは「大事なものは生きる執
着心を持ち続けることだ」と言わ
れ・・・

1日1日の積み重ねが人生。そう思い
ながら仕事を続け、娘と過ごす時間
を大切にしている。

～ 終わりにあたり ～

世の中、何事も意味がある。価値のない人生はない。
新聞記者がステージ4の希少がんになったのは意味がある。
少ない情報を発信し、不安だらけの患者に勇気を与え続ける
のが使命。
どんなに辛くてもあきらめずに、少しずつでもいいから歩み
続けることこそが大事。Baby stepのように・・・